

◆会長メッセージ◆

会長就任の重責を受諾して1年、平成26年度も終わろうとしています。会長として足が地に着かない1年でしたが、皆様のご尽力でなんとか運営してこれたことを感謝しています。

3月1日の理事会では平成27年度の行事予定案、予算案がだされ新たなスタートの準備が進められています。家庭生活、学校生活、仕事等、新生活の準備に忙しい日々が、目前に山積みしている方も多いことでしょう。

弓道の修練も日常生活の中に計画的に設定して、努力する日々でありたいものです。

連盟行事も積極的に競技会、講習会、審査会へ目標を設定して、参加してください。そして、皆さんの協力で、活気のある楽しい連盟活動を推進して行きたいと思っています。

奈良県弓道連盟会長 西中 正

◆地連審査講習会

平成27年3月1日(日) 樫原公苑弓道場において審査講習会が実施され、一級から四段の受審予定者19名が参加しました。講師は指導部長、指導部員3名、あいにく雨が降り寒い日だったせいか、学生・生徒の参加は残念ながらありませんでした。

まず、基本の姿勢・基本の動作、執弓の姿勢、入退場など体配を中心に練習しました。その後、審査を想定し、立ちを組み研修していただきました。また射技指導を希望する声が多かったために、射位で指導部員が個別に射技指導を行いました。

参加者が少なく、また和服着用の参加者がいなかったために、肌脱ぎ、襷がけもなく時間に余裕があり、立ちを組んだ練習を数回繰り返すことができ、参加者にとっては中身の濃い講習会になったと思います。

午後は指導部の研修会でしたが西中会長、阪中副会長も参加されて4人の持的射礼、男性4人の立射礼の研修を行いました。その後は射技研修を行い、指導部員にとっても有意義な一日でした。(指導部：野尻祥枝)

◆称号者研修会に参加して

2月21日、22日の2日間県称号者研修会が樫原公苑弓道場で行われました。

主任講師に吉本清信範士九段、講師に須田三郎教士七段。そして、補助講師として西浦範光、新司正人、西中正の教士七段の5人の先生方で開講しました。

1日目の午前には審査員講習会があり、例年より半日少ない講習でしたが、いろんな観点から新鮮味がありました。その一つが介添え研修でした。通常の講習会では1組だけの体験と講評という研修ですが、今回は全員がいろんな場面を何度も身に付くよう、3名の補助講師がそれぞれの場面場面に分かれて厳しい指導を受けました。1日目は一手行射とその介添え研修で終わりました。

夜の研修は午後7時15分より始まり、「称号者として」という題で明瀬教士と下川錬士から発表がありました。その後、須田講師より「弓道之美」について講話があり、吉本講師からは直近の話題である「矢羽について」の話を行いました。

2日目は最初に3名の補助講師による一ツ的射礼があり、それを受けて射礼研修(一ツ的・持ち的)がありました。やはり講師と受講生では体配や射技に差が大きいと感じました。しかし、須田講師から補助講師の3名にも手厳しい講評がなされました。

補助講師が直接指導をし、その後ろから2人の講師が指導をするという二重の指導体制で今年度は進行しました。午前の最後に吉本講師が実際に引きながらそれぞれの箇所での注意点や呼吸について細かく教えていただき、すごく参考になりました。それを受けて3名の補助講師による射技指導がありました。

午後からは昨日の介添え研修の続きで、最初に吉本講師から介添えの重要なポイント(19項目)の説明があり、昨日行ったそれぞれの部分の動作を一連の流れの中で行えるよう、3射場に分かれて研修をしました。

最後に3名の補助講師による射技指導があり、たくさんの課題をもらいながら講習会が終わりました。今年度はいつもと違った内容で、いい研修でした。ご指摘いただいたことを修練していきたいと思っています。

5名の講師の先生方、本当にありがとうございました。
(指導部：岡本蔦子)

編集後記

編集を担当し、一年が経ちました。編集ミス、誤字等いろいろやらかしましたが、納期だけは守って発行することができました。これも皆さんの投稿のおかげです。来年度も積極的な投稿をよろしくお願いいたします。